

## 令和2年度『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その7

本校ではこれまで、重点教育目標『自分で考え、実行できる子どもの育成』達成のため、研究部長三上先生による提案授業を行いました。そして、10月22日（木）には、学校教育訪指導訪問があり、檜山教育局義務教育指導班 主査 坂見明信様を招き、全学級公開・2年生の特設授業を行い、研修を深めました。

提案授業や特設授業前には、指導案を検討し合う「板書交流」を行うことで、職員全員の共通理解を図りました。

事後研では柱に沿って話し合い、本校の強みと課題について話し合い、今後の指導につなげています。以下は、22日の事後研の流れです。

◆14:05 ~ 2・3年生教室

《司会：藤谷先生 記録：三上》

- ① 授業者から 5分
- ② 質問（全体で確認したいことなど） 5分
- ③ グループごとに話し合い 25分



### 【討議の柱】

- (1) 単元全体を見通した授業づくり、問題意識を喚起する『課題』の設定と『課題』に対応する『まとめ』となっていたか
- (2) 板書の構造化、授業内容を思い起こすことができるノート指導になっていたか

《仮説》1単位時間の授業で「つけたい力」を明確にして指導者が適切に関わることで、子どもたちが主体的に学び、より確かな学力を身につけることができる。

### 【グループ】

A	大野先生	齋藤先生	星先生	十河先生	校長先生
B	押見先生	小松先生	藤谷先生	加藤先生	教頭先生
C	飯高先生	増田先生	島村先生	佐藤先生	三上先生

- ・付箋を貼りながら、\_\_\_\_\_の方を中心に話し合いを進めてください。
- ・最終的にグループでどんな話し合いがされていたか、3分ほどで話してもらいます。司会の方は話を進めながら、意見をまとめておいてください。よろしくお願いします。

- ④ 各グループの発表（3分程度） A→B→C 10分
- ⑤ 坂見主査より 10分
- ⑥ 教頭先生・校長先生より 5分

終了予定 15:05



坂見主査からは、「指導と評価の一体化」「ICT機器の活用」「対話的な学び」等について、資料を使って説明して頂きました。

また、11月5日には公開研究会に向けての板書交流があり、ここでも坂見主査にご指導ご助言を頂く予定になっております。